

電子複写不可

昭和一九四〇年十一月二二日

第十九航空地区司令部命令会報級

原本史料

防衛研究所戦史室

本土周辺  
41

RS 86680  
Cincpac-Cincpoa  
B-

Okinawa 14 June

十九航地輸命令第一號

輸送指揮官命令

四月二日〇六〇  
白城子

新名中尉ハ白城子一釜山間ノ鉄道輸送指揮

官ヲ命ゼラル

ニ輸送部隊ハ四月三日二〇〇駐屯地出發釜山ニ

向テ前進セントス

ニ輸送計画ニ示シアル人員ハ四月三日ニ迄ニ

全前ニ集合スベシ

人員ノ乗車ニ関シテハ水部少尉ヲシテ指示

セシム

五器材ノ集積積込其ノ他細部ニ関シテハ高島

中尉ノ指示ヲ受クベシ

六輸送間ノ給與ハ中尾見習士官担任スベシ

七輸送間ニ於ケル日直勤務及列車衛兵差出版

36 2120-9

RS 86680  
Cincpac-Cincpoa  
B-1

Okawa 14 Jul

十九航地作命第六號

十九航地作命第六號

四月二日  
白城子

第十九航地作命第六號  
南西諸島方面より新第三十二軍司令官隷下ニ

入ラシメラル

ニ第十九航地作命第六號司令官部別紙輸送計画ニ基キ四

月三日白城子出發先ツ釜山ニ向ヒ前進セントス

三新名中尉輸送指揮官トリ別紙計画ニ基キ白城

子...釜山間ノ鉄道輸送ニ基キ

四高島中尉西平ニ基キ採縦及機關下士官(三)ノ未

務別紙第一ノ如シ  
八輸送計画ニ於ケル注意事項別紙第二ノ如シ  
九字ハ廢合教育室ニ在リ  
輸送指揮官  
新名中尉

修教育ノ監督及資材ノ整備任シ、該教育終了後空  
中輸送ヲ速ニ追及スヘシ

前進地兵後命ス

五各主任者ハ別示ス業務分擔依リ各所命ノ業務ヲ

遂行スヘシ

六予ハ三三三列車依リ釜山ニ先行ス

球九作命申第三號

第十九航空地區司令部命令

四月二十五日  
那霸國洋會館

April

第十九航空地區司令部指揮下部隊ハ球九作命申第四號

別冊航空基地設定計畫中ノ別紙及別紙其ニ球九

命申第五號ノ別紙第一及別紙第二如ク實施スヘシ

又球九作命申第五號ノ別紙第一ニ基テ爾今北(讀谷山)

飛行場ノ設定ハ予ノ指揮下ニ實施ス

ニ第六要塞建築勤務中隊沖繩殘置小隊ハ九航

地司作命第二號別紙展開要領ニ拘ラス中、東南ノ

各飛行場ニ展開スル諸隊ニ分屬セシムルモトス

分屬ニ関スル細部ハ別ニ示ス

第十九航空地區司令官

下達法 印刷配布  
配布先 32A 航本  
50af 30C  
6KV

球九作命申第三號

第十九航空地區司令部命令

四月二十五日  
那霸南洋會館

一 第十九航空地區司令官指揮下部隊ハ球作命申第四號別冊「航空基地設定計畫」中ノ別紙及別紙其ニテ球作命申第五號ノ別紙第一及別紙第二如ク實施スベシ

又球作命申第五號ノ別紙第一基干爾今北(讀谷山)飛行場ノ設定ハ予ノ指揮下ニ實施ス

二 第六要塞建築勤務中隊沖繩殘置小隊ハ九航空地司作命第二號別紙展開要領ニ拘ラス中、東南ノ各飛行場ニ展開スル諸隊ニ分屬セシムルモトス

分屬ニ関スル細部ハ別ニ示ス

第十九航空地區司令官

下達法 印刷配布  
配布先 32A 航本 50af 30C 6KV

一九四九年四月

第十九航空地區司令官命令

五月五日 開洋會館

一 高島中尉、明六日朝、九式襲撃機ニ依リ即日  
歸隊、豫定ニテ南大東島、飛行場ノ偵察ニ任ズ  
操縦者木伍長、整備新井軍曹トス

一 落合伍長、明六日朝、一式双発高専練習機ヲ操  
縦シ、第三五飛行場大隊、幹部ヲ宮古島ニ空  
輸シ、且ツ石垣島、飛行場、偵察ニ任シ、即日歸  
隊ス

第十九航空地區司令官

下達法 口達後印刷配布  
通報先 32A 航本 50af 30C 6KV

一九航地作命甲第七號

五月十八日合。

第十九航空地區司令部命令開洋會館

一球作命乙第四號二基々双練一機ヲ以テ明

十九日〇八〇〇時發翔霸——福岡間左記

人員ノ空輸二任ス

左記

一往航 獨立混成第三聯隊大隊長鈴木大尉三名

乙歸航 獨立混成第四十四旅團長鈴木少將外二名

二落合伍長八前項人員ノ空輸二任スヘシ

機關曰高軍曹同乘スヘシ  
往航ハ西部軍司令部機ト同航スルモノトス

下達法 口達後印刷交付

配布先

32A

軍事機密  
第十九航空地区司令部第三號

第十九航空地区司令部命令

六月二十九日三三〇  
那霸市立高  
工学校 四

一 緊迫セル戦局ニ鑑ミ軍ハ現行飛行場ノ設

定方針ヲ變更セラル

二 第十九航空地区司令部ハ軍命令ニ基キ兵

力及資材ヲ轉用シテ一部ノ既設飛行場並

ニ附屬ヲ急設スルト共ニ依然第廿五飛行

團ニ協力セントス

三 第三飛行場中隊長ハ東南兩飛行場ノ作



業ヲ一時中止シ中隊ノ全カヲ以テ北飛行場ニ  
展開シ該地勤務隊長ノ任務ヲ繼承スル  
ト共ニ該飛行場ノ誘道路路掩体燃彈防護  
施設ヲ促進スベシ是等ノ施設作業ニ關シ  
テ北飛行場設定擔任天野少尉ヲ指揮  
スベシ但シ航空本部ニ於テ實施ノ作業ト  
其ノ區別ヲ明瞭ナラシムベシ  
東及南飛行場設定用資材ハ別紙資材  
受渡表ニ基キ中北伊江島飛行場ニ七月  
廿迄ニ移讓ヲ完了スベシ

一 九航地作令甲第三九號

第十九航空地區司令部命令

昭和二十一年七月廿一日

- 一 第四十四飛行場大隊ハ一部(約八隊)ノ整備人員ヲ小隊飛行場ニ差出シ第三飛行場中隊小隊勤務員ノ任務ヲ繼承シ第二戰隊ノ戰鬥整備ニ密ニ協力スベシ
- 二 第三飛行場中隊小隊勤務員ハ第四十四飛行場大隊ニ任務ヲ移讓シタル後速カニ原隊ニ復帰スベシ

二第八野戦航空修理廠第三独立整備隊  
邦霸到着ト共ニ子ノ指揮下ニ入ラシムラル  
依ツテ速カニ北飛行場ニ展開シ第二十五飛  
行團ニ忠ニ協力スベシ

細部ハ現地ニテ邦霸分隊長ト密ニ協定ス  
ヘシ

四第六要塞建築勤務中隊長ハ伊江島ニ  
二個班ヲ残置シ主力ヲ七月末日迄ニ北

十九航空地帯命令之第三編

第十九航空地帯司令官命令 十有音二四

一航空地帯司令官部ハ資材ノ入財ト共ニ球作命令内第

之十二編ニ基キ十九航空地帯命令之第十二編ニ拘ラス

沖縄北飛行場ノ附屬施設ヲ強化ヒトス

二第三飛行場中隊長ハ昭和二十年一月三ヨリ目途トシテ

通信所及飛行場本部並ニ空中勤務者ヲ待避

所ノ建設ニ任スベシ

上田中尉ハ之ガ設計ヲ指導シ任スベシ

三通信関係施設ハ之ノ建設ヲ急務トシテ急差出

スベシ

第二航空通信隊司令部 西村少尉

航空路新設管区係老中隊 影山火尉

第二十六對空無線隊 川口少尉

沖繩氣象支部 深田進尉

第五十六飛行場大隊 空崎中尉

四第二項建設ノ為要スル資材ノ輸送基調調査

ニ関シテハ別ニ指示ス

下達法 口達後印刷配布

配布先 32A 32D 北飛行場指揮處 處下各部隊

十九航地作命甲第一〇五拜

第十九航空地區司令部命令 十一月二十九日

一球作命乙第五十一聯ニ基キ第百五十八飛行場

大隊及第三飛行場中隊ハ軍ノ戦闘序列ヨリ

削除セラレ第八飛行師團ノ編合ニ編入セラル

隸屬轉移ノ時機ハ昭和二十年一月一日零時ナ

リ 二前項部隊長ハ速カニ輸送量ヲ地區司令部ニ

報告スルト共ニ機ヲ失セズ諸資材ノ整備並

ニ輸送準備ヲ行フベシ

之ガ為企圖ヲ欲スルヲ要ス

第五十飛行場大隊長ハ第百五十八飛行場大隊長ノ現任者ヲ継承スベシ

継承時機ハ昭和二十年一月一日零時トス

四 第五十飛行場大隊 第五十六飛行場大隊ハ現在北支那方面々々前項部隊ノ輸送ニ関シテ密ニ

五 前項指揮轉移ノ時機ニ於テ第五十ニ特設警備

工兵隊及第六要塞建築中隊一小隊ハ第百五

八飛行場大隊長ノ指揮下ヲ脱シ第五十飛行場

大隊長ノ指揮ニ付ス

下達法 已達後印刷交付

先 以先 指揮下達處下等部隊

十九航地作命甲第一〇五號

第十九航空地區司令部令

十二月十九日

一 球作命乙第五十一師ニ基キ第百五十八飛行場

大隊及第三飛行場中隊ハ軍ノ戦闘序列ヨリ

削除セラレ第八飛行師團ノ編合ニ編入セラル

隸屬轉移ノ時機ハ昭和二十年一月一日零時ナ

リ

二 前項部隊長ハ速カニ輸送量ヲ地區司令部ニ

報告スルト共ニ機ヲ失セズ諸資材ノ整備並

ニ輸送準備ヲ行フベシ

之ガ爲企圖ヲ秘匿スルヲ要ス

三 第五十飛行場大隊長ハ第百五十八飛行場大

隊長ノ現任務ヲ繼承スベシ

繼承時機ハ昭和二十年一月一日迄の時トス

四 第五十飛行場大隊 第五十六飛行場大隊ハ現在地ニ於テ夫々前項部隊ノ輸送ニ関シテ密ニ協力スベシ

五 前項指揮轉移ノ時機ニ於テ第五〇三特設警備工兵隊及第六要塞建築中隊一小隊ハ第百零一飛行場大隊長ノ指揮下ヲ脱シ第五十飛行場大隊長ノ指揮ニ入ルベシ

下達法 口達後印刷交付

配布先 32A 87D 指揮下區處下各部隊

Feb

十九航地作命乙第三〇號

第十九航空地區司令部命令

二月十一日ニ發

一 明十二日以降北飛行場比謝附近ノ誘導路ノ設定ハ地區司令部ニテ直接担任ス

二 第五百三特設警備工兵隊ハ第五十六飛行場大隊長ノ指揮下ヲ脱シ二月十二日以降予ノ直轄トス

下達法 口達後印刷配布

配布先 32A 56ab 503特警

十九航空地作命甲第...

第十九航空地作司令部命令

二月十四日

一 敵情ハ別紙情報送報ノ如シ

二 航空部隊ハ右情況ニ鑑ミ對應ノ處置ヲ講ゼシ

トス

三 第一分廠長ハ北飛行場ニ在リ修理完成機ヲ悉ク

伊良皆新設遮蔽施設ニ移動シ既設ノ特掩體

ヲ開放シ小型ノ滞留機ヲ之ニ收容セシメ大型機ハ

中飛行場ニ繫留スル如ク本日中ニ處理スルモノトス

飛行機ノ移動ニ関シテハ誠第一整備中隊第五〇三

特設警備兵隊ノ各一部ヲ協力セシム

十九航空地作命甲第三九部

第十九航空地作命

二月十四日

一 敵情ハ別紙情報

二 航空部隊ハ右情況ニ鑑ミ對應ノ處置ヲ講セン

トス

三 第一分廠長ハ北飛行場ニ在リ修理完成機ヲ悉ク

伊良皆新設遮蔽施設ニ移動シ既設ノ特掩體

ヲ開放シ小型ノ滞留機ヲ之ニ收容セシメ大型機ハ

中飛行場ニ繫留スル如ク本日中ニ處理スルモノトス

飛行機ノ移動ニ関シテハ誠第一整備中隊第五〇三

特設警備工兵隊ノ各一部ヲシテ協力セシム

兵方ノ第三特務隊隊長ハ在伊良皆兵方  
ヲ各前項ノ協方ニ差出スベシ

第五飛行場大隊長ハ津繩北飛行場ノ土掩體ノ  
偽装ノ強化ト共ニ偽飛行機及大破機ヲ全部本日  
中ニ之ニ收容セシムベシ

又伊良皆誘導路及遮蔽施設位置ノ偽装ヲ繼續ス  
ベシ

大第四十四飛行場大隊長ハ本日以後北飛行場ヨリ移動  
ス大型機ノ繫留確保並ニ搭乗者ノ宿營休養ヲ  
擔任ス

七北飛行場比謝附近ノ遮蔽施設之ニ伴フ誘導路  
ハ航空地區司令部新名中尉ノ區署ニ依リ本日中ニ  
之ヲ概成シ明日以後使用ニ供シ得ル如ク實施スベシ  
八第五十六飛行場大隊ハ新設誘導路引込路及遮  
蔽施設ノ偽装迷彩ヲ本日中ニ概成スベシ

九各飛行場大隊長ハ敵空襲後ニ於テモ友軍機行  
動ニ即時支障ナキ如ク隨時飛行場ノ被害補修  
ヲ實施スベシ

五第五〇三特設警備二兵隊長ハ主力ヲ以テ隨時冲過  
北飛行場ノ被害補修ヲ實施シ得ル態勢ニ在ルベ



シ  
出動ノ時機ハ別命ス

二第六要塞建築隊長ハ別ニ示ス處ニ依リ兵力ヲ差

出スベシ

第十九航空地區司令官

下達法  
口達・電報・電話后印刷交付

報告通報先  
22A 8FD 62D (211A)

配布先  
指揮下區處下關係各部隊

Feb

十九航地作命第百十一號

第十九航空地區司令部命令

二月二十一日  
六時

一第六要塞建築中隊長ハ分隊長ヲ長トスルニ個班ヲ

伊江島ニ派遣セシメ第五十飛行場大隊長ノ指揮下ニ

入ラシムベシ

下達法  
口達後印刷配布

配布先  
22A

十九航地作命第百十一號

第十九航空地區司令部命令

昭和二十一年六月

一 第六要務建築中隊長八分隊長ヲ長トスル二個班ヲ  
伊江島ニ派遣セシメ第五十飛行場大隊長ノ指揮下ニ

入ラシムハシ

下達後印刷配布

配布先 32A (11)

十九航地作命之第三四號

第十九航空地區司令部命令

大正十三年六月六日

一 球作命乙第四號ニ據リ第三獨立整備隊ノ主力ハ

中飛行場ニ展開セシメラル

二 第四十四飛行場大隊長ハ前項部隊移動ニ伴フ

輸送ニ関シ密ニ援助スベシ

三 第六要塞建築中隊ハ前項部隊ノ諸施設ノ建

設ニ任ズベシ

細部ハ相互協定スベシ

下 遺法 印刷交付

配布先 32A 印刷交付  
44ab  
3Fs  
6K2

Feb

十九航地作命之第三十四號

第十九航空地區司令部命令

二月二十一日

一 球作命之第四號ニ據リ第三獨立整備隊ノ主力ハ  
中飛行場ニ展開セシメラル

二 第四十四飛行場大隊長ハ前項部隊移動ニ伴フ

輸送ニ関シ密ニ援助スベシ

三 第六要塞建築中隊ハ前項部隊ノ諸施設ノ建

設ニ任ズベシ

細部ハ相互協定スベシ

下達法 印刷交付

配布先 32A 44ab 3Fs 6Kil

十九航地作命甲第百十二號

第十九航空地區司令部命令

大正三十四年九月九日

一連日ノ雨天ニ拘ラス各隊ノ努力ニ依リ飛行機  
秘匿施設(掩體)及合同通信所ノ掩護施  
設ハ所期ノ如ク完成セリ

ニ各大隊ハ三月一日以降更ニ球參空第七號ニ  
依ル通牒ニ基キ洞窟又ハ半洞窟掩體構築  
ニ移行スルト共ニ別紙指示ニ基キ訓練スベシ  
三比謝附近ノ飛行機秘匿施設及誘導路ハ三  
月一日以降北飛行場保管者ニ移管スレモトス

第五〇三特設機警備工兵隊(三中隊欠)ハ三月一日以

降第五十六飛行場大隊長ノ指揮ニ入ルベシ

五 誠第一整備中隊長ハ引續キ成ルベク多クノ兵力ヲ

日々第五十六飛行場大隊長ノ實施スル訓練及

作業ニ差出シ協力セシムベシ

細部ハ相互協定スベシ

六 第六要塞建築中隊ノ作業ニ關シテハ別ニ示ス

七 各大隊作業ノ實施ニ關シテハ現場ニ於テ指示スルモ

各大隊長ハ豫メ偵察シ意見ヲ呈スルモノトス

下 達 法 口達后印刷配布

配布先 以FD 指揮下區處下各部隊

紙一

三 高島中尉ハ自動車隊長ト成リ前項人員

器材ノ指揮ニ任スベシ

四 千卷主計大尉ハ自動車隊ノ宿營給養ヲ担

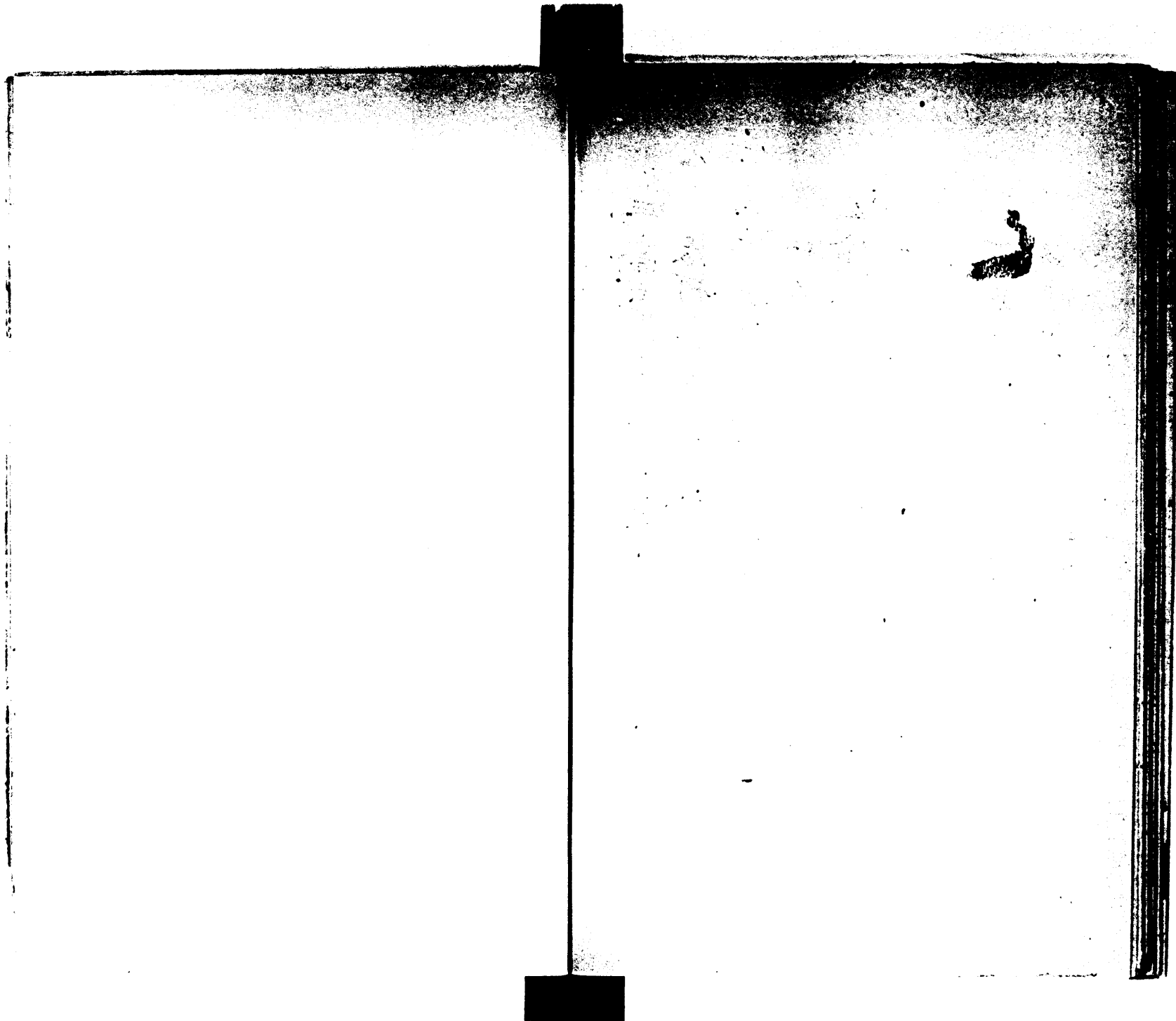
任スベシ

五 輸送及集積ノ細部ニ關シテハ自動車隊長

ニ別ニ示ス

下達法 要旨口達後印刷配布

報告(通報)先  
JZA (6ab at 44 at 50 at 55 at 55分)









五 綜合戰果

隊名不詳	十一月二十七日 レイテ島	十一月二十九日 ラモン湾	十一月二十二日 レイテ島	十一月二十五日 ルンビョウ島	十一月二十六日 レイテ島	十一月五日 スガオ湾
大破B-C	未破A-C 不詳二	未破T二 未破T七	未破A二C一 擊破A一	未破T二 未破T一	未破T二 未破T一	未破T二 未破T一

区別	陸軍		海軍		空軍	
	未破	未沈	未破	未沈	未破	未沈
A			五	八	八	五
B		五			五	四
C		四		三	七	七
d		二		一	二	二
T		三		五	一	五
C2B				三	四	四
C2R				一		
d						
不詳						
捕						
要						

第十九航空地區司令部會報 三月二十日

一 今次第二十一航空通信隊新ニ編成セリ隊長小鷲少佐  
著任ス

二 爾今航空地上勤務部隊ハ左記部隊長ニ依リ軍扶維  
持、監督指導ヲ委任ス  
各隊ハ其命令指示ヲ遵守スベシ

第一分隊長 近藤中佐  
（部下指揮下部隊 陸軍參謀部）

第三航空通信隊長 小鷲少佐  
（部下部隊 第二十六對空無線隊殘存隊 第一整備中隊）

第五十六飛行場大隊長 黒沢少佐  
（部下指揮下部隊 第六航空隊司令部）

三 憲兵隊より通報ニ依リ左記ノ如キ弊害アリ直ニ矯  
正スルヲ要ス

一 夜間兵断外出ト認ムラル者日々絶エス

各隊長ノ統率ニ遺憾ナキ如ク外出者ニハ必ず證明  
ヲ所持シムルコト

二 慰安所ヨリ防諜上軍紀上忌ムヘキ情報漏ルコト多シ  
特ニ將校ニ於テ自肅自戒ヲ要スル趣ナルヲ以テ各隊長  
ハ部下將校以下此種指導ヲ適切ナラシムルコト

第十九航空地區司令部會報 三月二十日

今次第二十一航空通信隊新ニ編成セラル隊長小島少佐  
着任ス

二 爾今航空地上勤務部隊ハ左記部隊長ニ依リ軍秩維  
持ノ監督指導ヲ委任ス

各隊ハ其命令指承ヲ遵守スベシ

第一分隊長 近藤中佐 (親下指揮下部隊 陸軍參謀部)

第三航空通信隊長 小島少佐 (親下部隊 第二十一航空通信隊及置隊 航空一隊置隊)

第五十六飛行場大隊長 黒沢少佐 (親下指揮下部隊 第五十六飛行場大隊)

第四十四飛行場大隊長 野崎大尉 (親下指揮下部隊 第四十四飛行場大隊)

其他ノ部隊ハ第一九二四司令部會報ニ依リ

三 憲兵隊ヨリ、通報ニ依シバ左記ノ如キ被害アリ直ニ二橋  
正スルヲ要ス

一 夜間無断外出ト認メラル、有日々絶エス

各隊長ノ統率ニ遺憾ナキ如ク外上者ニハ必ズ證明  
ヲ待テシムルコト

二 慰安所ヨリ防諜上、軍紀上、忌ムキ情報漏ルコト多シ  
特ニ將校ニ於テ自肅自戒ヲ要スルニ趣キ、以テ各隊長  
ハ部下將校以下此種指導ヲ適切ニシムルコト

RS 86680  
Cincpac-Cincpoa  
B-20713  
Okinawa  
Jun

第十九航空地區司令官會報

三月二十日

第二十一航空通信隊新二編成セシ部隊長小鷲少佐

今航空地上勤務部隊ハ左記部隊長ニ依リ軍秩維持  
監督指導ヲ委任ス

各隊ハ其命令指示ヲ遵守スベシ

第一廠長 近藤中佐  
親下指揮下部隊  
陸軍監務部

第二(種)通信隊長 小鷲少佐  
親下部隊  
第二(種)無線隊殘置隊  
隊第一級中佐

第五十六飛行場大隊長 黒沢少佐  
親下指揮下部隊

第四(種)飛行場大隊長 野崎大尉  
親下指揮下部隊  
其他ノ部隊ハ第一(種)通信隊司令官ニ依リ

悪兵隊、通報云々、如キ弊害アリ直ニ矯

正スルヲ要ス

夜間、断外出ト記メラル、有日々絶エス

各隊長、統率ニ遺憾ナキ如ク外出者ニハ必ず證明

ヲ所持セシムルコト

2 慰安所ヨリ防諜上、軍紀上、忌ムルキ情報漏ルコトヲ

特ニ將校ニ於テ自肅自戒ヲ要スル趣テリヲ以テ各隊長

ハ部下將校以下此種指導ヲ適切ナラシムルコト

